

2020年5月3日

(№18)

朝 礼 拝 順 序 (午 前 10 時 半)

前	奏	+ 5分前着席黙祷	
開 会 招 詞			司式 熊田雄二 牧師
* 賛 美 歌	4	あめつちにまさる(讃美歌11)	奏楽 姉妹
* 開 会 祈 禱			
罪 の 告 白		祈禱書2	
罪の赦しの宣言			
十 戒		祈禱書4	
* 賛 美 歌	35	十字架の上に(讃美歌257)	
共同の祈禱		祈禱書35 伝道開始記念日	
献 金		(黒) 教会活動 (赤) 全国青年リトリート(オンライン開催)70	
<u>毎週の礼拝献金については、会堂での礼拝再開時に、まとめてお捧げください。</u>			
毎月の教会献金(月定)についても、会堂での礼拝再開時に、まとめてお捧げください。			
聖 書 朗 読		エフェソの信徒への手紙4章1-6節(新約355頁)	
説 教・祈禱		信条①「聖書真理の体系と信仰生活」	熊田牧師
* 賛 美 歌	39	わが身の望みは(讃美歌280)	
* 主 の 祈 り		祈禱書1	
* 頌 栄	64	み恵みあふるる(讃美歌540)	
* 祝 禱			
後 奏			
報 告			

○ 本日 ● 10:00小会祈禱会(ネット) ● 小会・執事会 午後1時

役員誓約事項

- ① あなたは、旧・新約聖書が神の言葉であり、信仰と生活の唯一の誤りなき規準であると信じますか。
- ② あなたは、私たちの教会の信仰規準を、聖書の真理を体系的に示すものとして誠実に受け入れますか。

信徒の誓約6ヶ条

1. 私は、天地の造り主、唯一の生けるまことの神のみを信じます。
2. 私は、自分が神の御前に罪人であり、神の怒りに値し、神のあわれみによらなければ、望みのないことを、認めます。
3. 私は、主イエス・キリストを、神の御子、また罪人の救い主と信じ、救いのために、福音において提供されているキリストのみを受け入れ、彼にのみより頼みます。
4. 私は、今、聖霊の恵みに謙虚に信頼し、キリストのしもべとして、ふさわしく生きることを決心し、約束します。

5. 私は、最善をつくして教会の礼拝を守り、その活動に奉仕し、教会を維持することを、約束します。
6. 私は、日本キリスト改革派教会の政治と戒規とに服し、その純潔と平和のために努めることを、約束します。

【次週朝拝】 ヨハネによる福音書9章1-12節

「試練を祝福に変える主イエス」 スパーリンク宣教師
 ソングシート 5（讃美歌12）、 50（讃美歌354）、
 62（讃美歌532）、 64（讃美歌540）

趣旨：世界的にも個人的にも起こってくる不幸があっても、その本当の要因や目的が簡単にわからないものがいっぱいあります。でも、闇を照らす光があり、不幸を祝福に変える主がおられるので、いつでも希望を持って生きることができます。今回はその実例を見て、主の憐れみを確認しましょう。

5月	C S 幼少	C S 中高	C S 成人	朝 拝	子 ども / ジュ ニア	夕 拝
10				スパーリンク宣教師		
17				熊田牧師		
24				熊田牧師		
31				熊田牧師		

朝拝説教はインターネット動画（HPより）・メール配信あるいは郵送します

「一つ信仰告白」について言えば、教会は、神の栄光と自己の永遠の救いのために、この問題に関して絶えることのない霊の戦いに励むべきである。新約のキリスト教会も、初代から今日に至るまで、あらゆる異端と戦い、これに勝ち、真理を保持して今日に至っている。我らは、このキリスト教信仰の正しい伝統に立つことに熱意を持つ者である。日本キリスト改革派教会が、前文を付して、ウエストミンスター信仰告白ならびに大小教理問答を信仰規準として採用する意図も、ここにある。

神が御自身の教会にお与えになった、神の言葉である旧新両訳の聖書は、教会の唯一無謬の経典である。

聖書において啓示されている神の言葉は、教会によって信仰告白されて教会の信仰の規準となる。これが教会の信条である。教会は古代より使徒信条、ニケア信条、アタナシウス信条、カルケドン信条の四つの信条を、教会の基本的、普遍的信条として共有してきた。

宗教改革時代に至って、改革派諸教会はそれら諸信条の正統信仰の伝統に立ち、かつ、これらにとどまらずに、純正に福音的、いや、全教理にわたってさらに純正にして、かつ、すぐれて体系的な信条の作成に導かれるに至った。その三十数個の信条の内、ウエストミンスター信仰基準は、聖書において教えられている教理の体系として最も完備しているものであることを、我らは確信する。

我ら日本キリスト改革派教会は、我らの言葉をもってさらに優れたものを作成する日を祈り求めるとはいえ、この信仰基準こそ、今日我らの信仰規準として最適のものであることを確信し、讚美と感謝をもって我らの教会の信仰規準とする。

- 1 私たちの教会の信仰規準＝ウエストミンスター信仰規準
 - ウエストミンスター信仰告白 : 聖書の教理体系としてもっとも完備
 - ウエストミンスター大教理問答: 大人向けの問答
 - ウエストミンスター小教理問答: 子供向けの問答
- 2 小教理問答が短いので、体系を把握しやすい
 - その組み立ては信仰と生活 使徒信条(信仰)と十戒・主の祈り(生活)

I 役員誓約事項と信徒の誓約事項

① 4月までかかって、役員誓約事項の1を学びました。ずいぶんかかりましたが、聖書についてですので、当然と言えば当然です。「あなたは、旧・新約聖書が神の言葉であり、信仰と生活の唯一の誤りなき規準であると信じますか。」これを日本キリスト改革派教会創立40周年宣言の「聖書について」をテキストに学びました。

② 役員誓約事項の2は、「あなたは、私たちの教会の信仰規準を、聖書の真理を体系的に示すものとして誠実に受け入れますか。」です。実は、これは信徒の誓約事項とも関わっているのです。信徒の誓約6ヶ条は、信仰と生活という順序で、小さいながらも体系があります。

1～3項 信仰の知識 ①信じます。②認めます。③より頼みます。

4～6項 生活の約束 ④約束します。⑤約束します。⑥約束します。

1. 私は、天地の造り主、唯一の生けるまことの神のみを信じます。
2. 私は、自分が神の御前に罪人であり、神の怒りに値し、神のあわれみによらなければ、望みのないことを、認めます。
3. 私は、主イエス・キリストを、神の御子、また罪人の救い主と信じ、救いのために、福音において提供されているキリストのみを受け入れ、彼にのみより頼みます。
4. 私は、今、聖霊の恵みに謙虚に信頼し、キリストのしもべとして、ふさわしく生きることを決心し、約束します。
5. 私は、最善をつくして教会の礼拝を守り、その活動に奉仕し、教会を維持することを、約束します。
6. 私は、日本キリスト改革派教会の政治と戒規とに服し、その純潔と平和のために努めることを、約束します。

③ 信徒の誓約6ヶ条が信仰と生活という順序で、小さいながらも体系があることは、パウロの手紙の典型的な順序なのです。ほとんどのパウロの手紙は前半と後半から成っており、福音と律法の順番、あるいは信仰と生活の順番です。エフェソの信徒への手紙の組み立てでは、4章から生活に入るのので、今朝は、その箇所を読みました。エフェソ書では1～3章が福音による信仰、4～6章がおきてを喜ぶ生活です。信仰と生活がちょうど半分ずつで、いちばん分かりやすい組み立てです。

これは、旧約聖書も新約聖書も同じ順番であることを、私たちは毎週の礼拝で味わっています。その順番とは、奴隷状態からの救いが宣言されて十戒を唱えるという順番です。旧約聖書では「エジプトの奴隷状態からの救い」ですが、それを私たちは「罪の奴隷状態からの救い」と、キリストの十字架を覚えて唱えます。福音と律法は、聖書そのものの順番です。

II 信徒の誓約六ヶ条を試問し誓約を見守る役員の誓約

信徒の誓約6ヶ条は、信仰と生活という順序で、小さいながらも体系があること、その誓約を試問して、洗礼式や信仰告白式、転入式や加入式を行ないますので、役員誓約事項は信徒の誓約事項を見守る務めとも関係があると言えます。

「①あなたは、旧・新約聖書が神の言葉であり、信仰と生活の唯一の誤りなき規準であると信じますか。②あなたは、私たちの教会の信仰規準を、聖書の真理を体系的に示すものとして誠実に受け入れますか。」①と②は密接に関連していることは、すでに学んだ通りです。聖書真理の体系を、もっと本格的な体系として誓約するのが、役員の手紙です。それは、日本キリスト改革派教会の信仰規準です。

日本キリスト改革派教会がウエストミンスター信条を採択した理由は、週報裏面に書いてありますので、後でお読みください。

信徒の手紙第6項「私は、日本キリスト改革派教会の政治と戒規とに服し、その純潔と平和のために努めることを、約束します。」に、よく似た誓約が役員の手紙事項にもあります。それは、手紙第5項です。「あなたは、いかなる場合にも、教会の純潔と一致と平和のために努力することを誓約しますか。」役員の場合は「一致」が入っていることが分かります。

何によって一致するのかと言うと、日本キリスト改革派教会の憲法である「信条」と「教会規程：政治規準・礼拝指針・訓練規定」によって一致するのです。そこで、役員の場合は、教会の憲法への忠誠が求められるのです。「教会規程」の「規程」は「オーダー」の訳ですから、「秩序」とすると、「規定」と混同しないでしょう。「教会秩序」の中に、「政治規準」・「礼拝指針」・「訓練規定」があるということです。

「信条と教会規程」は、「信仰と教会生活」と言い換えると分かりやすいかと思いますが、今起こっているウイルス対策で、礼拝堂に集まって礼拝を続けるか、おさまるまで手紙や動画によって自宅礼拝とするか、意見が分かれそうな場合、役員は改革派教会の憲法によって教会の一致を守る任務があるのです。

Ⅲ 教会の一致を守る役員の手紙

本日の手紙「エフェソ4：1～6」の特徴は「一致」です。

3節 霊による一致

4節 体は一つ、霊は一つ、一つの希望

5節 主は一人、信仰は一つ、洗礼は一つ

6節 神は唯一

3節から、だ一つと教会の一致を呼びかけています。

「霊による一致」は、「体は一つ、霊は一つ」でさらに説明されるように、キリストにおける一致です。「体」は「キリストの体」であり、「霊」もキリストの御霊、聖霊です。キリストの体なる教会の一致は、聖霊における一致なのです。

このことが、さらに説明されるのが5節です。「主は一人、信仰は一つ、洗礼は一つ」。誰も聖霊によらなければ、イエスは主であると告白できないのですから(第一コリント12：3)、「イエス様は私の罪からの救い主です」と告白できるのは、信仰を起こしてくださる聖霊の働きによるのです。信仰を告白した者に洗礼を授けて、神の子として誕生させてくださるのは、聖霊のお働きなのです。そして、誕生した神の子たちを、キリストの十字架と復活に結び合わせて、キリストのかたちに成長させてくださるのも聖霊のお働きなのです。さらに、神の子たちを集めて教会を形成するのも聖霊のお働きです。

そうすると、帰する所は一つ、6節です。「神がすべてのものの上であり、すべてのものを通して働き、すべてのもののおられる」のは当然です。6節の「すべて、すべて、すべて」は、2節の「一切高ぶることなく」の「一切」と同じ言葉です。だから、3節から、だーっと教会の一致を語りますが、2節の「柔和、寛容、愛、忍耐」を受けて、3節には前置きが付いています。

「平和のきずなで結ばれて」ですが、直訳は「平和の結びつきにおいて」ですので、「きずな」という人間臭い言葉はありません。ですから「平和のきずなで結ばれて」の「平和」は、単なる平和ではなくて、キリストの平和です。神と罪人を結びつけるキリストの平和です。信じる者同士を結びつけるキリストの平和です。

「結びつき」という言葉「スン・デスマー」(sun・desmoo)は、スン(sun)とデスマス(desmos)の合成語です。デスマス(desmos)は「結ぶこと」、スン(sun)は「同じ(共に)」という意味です。シンクロナイズド・スウィミングの「シン」がスン(sun)、クロナイズドは時を表すクロノスというギリシャ語が元になっています。だから、二人が、あるいはチームが、一人の人のように動きをする、「同時に起こるスウィミング」という意味でしょう。私たちは、今、それぞれ、自宅で個人礼拝・家庭礼拝をささげていますが、別々でバラバラの状態であっても、シンクロナイズドは起こりうるのです。

あるいは、相乗効果のことを時々「シナジー効果」と耳にしますが、「シン・アージイ(syn・ergy)」は、「同じ働き」という意味で、共に働くと効果が倍増するという意味で使われているようです。教会の一致も、二人が一人のようになっていくものです。3人でも4人でも、何人集っても一人のキリストの体のようになっていくものです。キリストの名前を付けられているクリスチャンは、キリストの平和で互いに結びあうとき、相乗効果で「平和のきずな」が倍増していくのです。

IV 教会一致の訓練

そうすると、やはり、早くウイルス騒ぎが終息して、教会に集まりたいという思いが強くなります。今我慢しているのは、その時を希望しているからです。きょうの聖書箇所では、1節が教会の本質を表わしています。

1節には、教会と訳されるエクレスシアの同類の言葉が三つあります。「勧めます」と訳されているパラカロー(parakaloo)の直訳は「呼びかけます」。「神から招かれた」の「招かれた」エクレーセーテ(ekleetheete)の直訳は「呼ばれた」。「その招き」クレセオース(kleeseos)の直訳は「お呼び」。

つまり、どれも「呼ぶ」というカレオー(kaleoo)から出ている言葉です。ですから、神が「集れ」と呼びかけて集るのが教会なのです。神からの招きで信徒が集るのが教会なのです。今こうして動画配信で集っているのは、臨時措置です。神の呼びかけによって、「さあ、教会に行こう」と都のぼりの詩編を口ずさみながら来る人も、眠い目をこすりながら「やっぱり行かなくちゃ」と来る人も、神から「集れ」とお呼びがかかったので来た、というのが教会なのです。

1節から6節まではピリオドのない一つの文章なので、1節が主語と述語を含む主文です。1節を「教会＝エクレスシア」と同類の言葉で、言葉の順序どおり訳すようになります。「主に結ばれて囚人となっている私パウロは、呼びかけます。神に呼ばれたあなたが

たは、その呼びかけにふさわしい歩みをするように」。そして、どのようにふさわしい歩みをするべきかが2節以下なんです。

2節の始めは「一切高ぶることなく」と否定文の訳になっていますが、直訳は「全き謙遜をもって」です。この「全き」が「謙遜、柔和、寛容」に付いているので、「全き謙遜と柔和と寛容をもって、神の呼びかけにふさわしい歩みをしなさい。」と、パウロは勧めているのです。また、それには「愛をもって互いに忍耐」することが伴わなければならないと言っているのです。

この「愛」はアガペーですから、神がキリストにおいて罪人を忍耐してくださる愛です。それを教会のかしらキリストが訓練してくださいます。キリストの愛の長さ・広さ・高さ・深さが、私たちの内でキリストのかたちになるように、キリストがキリスト者を訓練してくださるのです。

それには、やはり集まることです。集まらなければ、摩擦は起こりません。集まってぶつかりあって忍耐し合うことによって、キリストの愛が相乗効果を起こすのです。伝道開始58周年の上福岡教会がそうでした。キリストの愛の長さ・広さ・高さ・深さがキリスト者に満ちていく時、謙遜・柔和・寛容・忍耐が、相乗効果で教会の愛のきずなを強めていくことを、私たちは味わってきたのです。だから集まりたい。キリストの弟子訓練を受けたい。

祈り